

助産師個人の皆様への調査

2020年度 分娩取扱施設に勤務する助産師に関する実態

令和2年度現在の状況について以下の質問にお答えください。

I. 助産師キャリア等について

- 1 あなたの年齢・資格・経験年数をお知らせください。

年齢	() 歳
取得している資格（複数回答可）	①保健師 ②助産師 ③看護師 ④准看護師
看護職員としての経験年数	() 年
助産師としての経験年数	() 年

- 2 現在、あなたは助産師として勤務していますか。

- ① 助産師として勤務している
 ② 助産師としてではなく、保健師として勤務している
 ③ 助産師としてではなく、看護師として勤務している
 ④ 看護職員として勤務していない ⇒ 設問 7 に進んでください。

- 2-1 「① 助産師として勤務している」と回答された方へお聞きします。
 あなたが勤務している施設の形態をお知らせください

- ア 周産期母子医療センター
 イ 一般病院
 ウ 診療所
 エ その他 ()

- 3 あなたが勤務している部署についてお知らせください。

- ① 産科単科病棟
 ② 混合病棟
 ③ 一般病棟
 ④ 外来（診療科： ）
 ⑤ その他 ()

- 4 あなたは現在の業務について、助産師としての能力を発揮することができていると思いますか。
- ① 思う
 - ② 思わない

「思わない」場合にはその理由
また、どのようにすれば自分の能力を発揮することができますか

- 5 施設の状況についてお知らせください。

- (1) 施設の看護部門の長の職種について

- ① 助産師
- ② 看護師
- ③ その他 ()

- (2) 施設の所属部署の長の職種について

- ① 助産師
- ② 看護師
- ③ その他 ()

- (3) 施設の看護管理者は助産師業務等の理解について

- ① 理解してくれている
- ② まあまあ理解してくれている
- ③ あまり理解してくれていない
- ④ 全く理解してくれていない

- 6 2015年8月に開始された助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)「CLoCMiP(ク
ロップミップ) レベルⅢ認証制度」への申請についてお知らせください。

①申請した

- ア 2015年に申請した
- イ 2016年に申請した
- ウ 2018年に申請した
- エ 2019年に申請した

②準備中

- ア 2020年に申請予定
- イ 2021年に申請予定
- ウ 2022年以降に申請予定

③更新予定

- ア 2020年に更新予定
- イ 2021年に更新予定
- ウ 2023年に更新予定
- エ 2024年に更新予定

④申請していない

申請していない場合にはその理由

- 7 質問4で「④看護職員として勤務していない」と回答された方にお聞きします。
あなたが看護職員として勤務していない理由をお知らせください。

- ① 妊娠・出産・育児等の期間であるため
- ② 看護職員として働きたいが、希望する就職先が見つからない
- ③ 看護職員として働きたいと思っていない
- ④ 看護職員ではない職業に従事している
- ⑤ その他 ()

II 労働条件について

1 採用の職種についてお知らせください。

- ① 助産師採用
- ② 看護師採用
- ③ その他

2 時間外労働時間の提出についてお知らせください。

※時間外労働時間には、業務確認のための早出、残業、休日出勤などサービス残業も含まれます。

- ① 時間外労働時間の提出は可能である
- ② 時間外労働時間の提出は不可である

2-1 「① 提出可能である」と回答された方にお聞きします。

(1) 月平均の時間外労働時間はどのくらいですか。

() 時間

(2) 時間外労働時間の勤務内容についてお知らせください。

ア 看護記録

イ 委員会

ウ 後片付け及び環境整備

エ 研修会参加

オ その他 ()

3 1か月の夜勤回数についてお知らせください。

() 回

4 勤務における疲労の回復が出来ているかをお知らせください。

- ① できている
- ② まあまあできている
- ③ あまりできていない
- ④ 全くできていない

5 昨年度の年休取得日数についてお知らせください。(令和元年度)

() 日

6 年休の自己申請による取得日数をお知らせください。(令和元年度)
() 日

7 院外の活動に係る時間が業務の一環として認められているかお知らせください。
※院外活動とは、青森県看護協会や青森県助産師会等の委員会活動等のことです。

- ①認められている
- ②認められていない

7-1 「② 認められていない」と回答された方にお聞きします。

どのような対応になっていますか

今後どのような対応になってほしいですか

8 分娩時の人員確保についてお知らせください。(令和元年度)

(1) 分娩時の日勤帯の人員確保についてお知らせください。
() 人

- ① 十分だと思う
- ② 十分だと思わない

①または②を回答した理由

(2) 分娩時の夜勤帯の人員確保についてお知らせください。
() 人

- ① 十分だと思う
- ② 十分だと思わない

①または②を回答した理由

9 その他、労働時間、労働条件等についてご意見ご要望等ありましたらお書きください。

Ⅲ 助産師の専門性について

1 他職種から評価してもらいたいと思う助産業務についてお答えください。

(1) 妊娠期の診断とケアについて（複数回答可）

- | | |
|------------|-----------------|
| ア 母体の健康診査 | カ 妊娠期のメンタルヘルスケア |
| イ 胎児の健康診査 | キ 入院妊婦のケア |
| ウ 妊婦のニーズ把握 | ク ケア計画の立案・記録・評価 |
| エ 母乳育児のケア | ケ 母親教室の企画・運営・評価 |
| オ 保健指導 | コ その他（ ） |

(2) 分娩期の診断とケアについて（複数回答可）

- | | |
|-------------|-----------------|
| ア 分娩経過の診断 | カ 分娩期のメンタルヘルスケア |
| イ 産婦のニーズの把握 | キ 助産計画立案・記録・評価 |
| ウ 産婦のケア | ク その他（ ） |
| エ 分娩介助 | |
| オ 帝王切開術のケア | |

(3) 産褥期の診断とケアについて（複数回答可）

- | | |
|------------|-------------------|
| ア 褥婦の健康診査 | カ 産褥期のメンタルヘルスケア |
| イ 褥婦のニーズ把握 | キ 褥婦のケア計画立案・記録・評価 |
| ウ 乳房ケア | ク 家族への説明などの業務 |
| エ 授乳介助 | ケ 産後ケア |
| オ 保健指導 | コ その他（ ） |

(4) 新生児期の診断とケアについて（複数回答可）

- | | |
|--------------------|--|
| ア 新生児の健康診査 | |
| イ 新生児のケア | |
| ウ 母体外生活適応のアセスメント | |
| エ 新生児のケア計画立案・記録・評価 | |
| オ その他（ ） | |

2 妊産褥婦と新生児へのケアに十分携われていると思いますか。

- ① できている
- ② まあまあできている
- ③ あまりできていない
- ④ 全くできていない

- 2-1 妊産褥婦と新生児へのケアに「③あまりできていない」「④全くできていない」と回答された方にお聞きします。その理由をお知らせください。

- 3 助産師として専門性を発揮できていると思いますか。

- ① できている
- ② まあまあできている
- ③ あまりできていない
- ④ 全くできていない

- 4 研修会の参加についてお知らせください。

- (1) 令和元年度、研修会に何回参加しましたか。

	院内研修会	院外研修会
産科関連の研修会	() 回	() 回
産科以外の研修会	() 回	() 回

- (2) 院外研修会の参加の扱いについて

- ① 出張扱いで旅費有り
- ② 出張扱いで旅費支給なし
- ③ 年休扱い
- ④ その他 ()

- (3) 院内・院外研修会にて、ブラッシュアップは出来ていると思いますか。

※ブラッシュアップとは、最新の技術や知識を学習したり、より高度な技術や知識にして上達することをいいます。

- ① できている
- ② まあまあできている
- ③ あまりできていない
- ④ 全くできていない
- ⑤ どちらともいえない

IV 助産師の出向について

- 1 助産師として他施設へ出向した経験がありますか。
 ※助産師出向とは、助産師が現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で助産師として働くものを指します。

- ① ある
 ② ない ⇒ 設問2へ進んでください

1-1 「①ある」と回答された方へお聞きします。

- (1) 出向の目的は何でしたか。(複数回答可)
 ア 応援出向 (他施設の労働力需要に応える)
 イ 研修目的出向 (正常分娩の介助経験を増やす)
 ウ 指導目的出向 (ハイリスク妊娠・分娩への対応など)
 エ 実習支援目的出向 (助産学生の実習を支援・指導)
 オ その他 ()
- (2) 出向した際、どのような条件が整えられていましたか。(複数回答可)
 ア 給与面で不利益にならない(給与が減給されない、給与は出向先が負担する等)
 イ 身分保障(退職扱いにならない、退職金の計算にあたり出向期間中も勤務年数が継続される、共催積立貯金等が継続される等)
 ウ 住居の確保
 エ 出向中の経験が出向元の人事評価に反映される
 オ インシデント・アクシデント発生時の対応の保障
 カ その他 ()

2 今後、他施設に出向する意思がありますか。(出向してもよいと思いますか。)

- ① ある (思う)
 ② ない (思わない) ⇒ 設問(4)に進んでください
 ③ どちらともいえない ⇒ 設問(4)に進んでください

2-1 「①ある」と回答された方へお聞きします。

- (1) 出向したいと思う理由は何ですか。(複数回答可)
 ア 応援出向 (他施設の労働力需要に応える)
 イ 研修目的出向 (正常分娩の介助経験を増やす、他施設を勉強したい等)
 ウ 指導目的出向 (ハイリスク妊娠・分娩への対応等)
 エ 実習支援目的出向 (助産学生の実習を支援・指導)
 オ その他 ()

(2) どのような条件であれば出向が可能ですか。(複数回答可)

- ア 出向目的： a 応援
b 研修 (目的が研修であり、身分も給料も出向元が保障するもの)
c 実習支援
e その他 ()
- イ 短期間 (1～3か月)での出向
ウ 年度毎 (1年間)の出向
エ 必要な人材の条件があれば (経験年数、分娩介助件数等)
オ 出向手当等の加算
カ その他 ()

(3) 出向するうえで弊害になると考えていることがあればお知らせください。

(4) 他施設へ出向する意思について 「②ない」または「③どちらともいえない」と回答された方にお聞きします。
その理由をお知らせください。

3 その他、助産師の出向、助産師確保対策や助産師の活用、人材育成、キャリアアップ等について、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。